

トキの生態調査

地元ボランティア監視員が協力

トキの監視員となる住民ボランティアを養成しようと「トキモニター講習会」が十二月二日、役場会議室で開かれました。

これは、今年九月に佐渡市から試験放鳥されたトキ十羽のうちの二羽が日本海を渡り、十一月上旬に関川村に飛来。以降、関川村に定着する兆しを見せていたことから、今後のトキの生存確認や生活様態

を記録する地元のボランティア監視員を養成しようと環境省が開催したものです。

講習会には、村内から四人のボランティアが参加。環境省関東地方環境事務所新潟事務所の担当職員から、トキはとても臆病なので百五十メートル以上離れて見守ることや産卵期となる一月以降は体が灰色になるのでサギと間違えやすいなど、観察する上での



元気な姿で餌を探すトキ（12月2日11時頃）

注意点の説明を受けたほか、調査報告や緊急時の連絡方法についても話し合われました。環境省の遠藤裕一所長は「トキが無事に冬を越せるように、皆さんの力をお借りします」と話し、監視員



トキモニター講習会（12月2日）

に帽子や腕章などが手渡されました。

監視員の近達次さん（高田）は「トキはとてもきれいで感動しました。自分にできる範囲で協力したいです」と意欲を語っていました。また、環境省の金子広明自然保護官は「静かに見守りたいと考えています。監視員の皆さんには、トキに異常が見られた場合など連絡をお願いしたいです」と話していました。

- トキ監視員 *敬称略
- 手塚 義夫（上野新）
 - 大島 聡（上野新）
 - 近 達次（高田）
 - 田村 弥一（高田）

また関川村へ 帰ってきてね

関川村のトキが新潟市南東部で発見

関川村に生息していた放鳥トキが、12月4日午前10時頃、約60km離れた新潟市南東部で発見されました。11月上旬に関川村に飛来し、約1か月間、村内を餌場として定着していたトキが最後に目撃されたのが12月2日の午後4時頃。その後、新潟市へ飛び立ったと考えられていて、足環の色などから関川村に生息していたトキと判明しました。トキが関川村で発見されてからは、毎日のように新聞やテレビで報道され、関川村の自然のすばらしさを全国発信できました。ぜひまた関川村へ帰ってきてほしいものです。



大島保育園でも、全園児が一生懸命塗りました。

園児も呼びかけ
「お酒を飲んだら
運転しないでね！」

十二月十一日から二十日までの十日間「冬の交通事故防止運動」が行われました。運動中の取り組みの一つとして、村内の各保育園では交通安全について学んだほか、飲酒運転根絶メッセージの書かれたぬり絵を園児が塗り、お家の人へ渡しました。

たくさんのご意見をお寄せください

村では、「村政」や「広報せきかわ」について、皆さんからのご意見・ご要望・ご提案を募集します。

よりよい村づくりのため、皆さんからのたくさん「声」をお待ちしています。

広報せきかわ1月号と一緒にお配りしたはがきに記入して、切手を貼らずにお出してください。

お寄せいただいた意見などは、広報紙やホームページに掲載する場合があります。あらかじめご了承ください。

名勝絵はがきの申し込みもお待ちしています

長谷部権次呂画伯（村上市出身）が関川村の名所や風光明媚な場所を描いた「名勝絵はがき」です。（8枚セット500円で販売中）

渡邊邸内部



五年間の大規模改修に着手

国重要文化財

「渡邊邸」

関川村の観光拠点になっている「国重要文化財・渡邊邸」が、平成二十一年一月から五年間かけて大規模な改修工事に着工します。

渡邊邸母屋の改修は、新潟地震翌年（一九六五年）の部分修理、羽越水害翌年（一九六八年）の復旧工事以来行われていないことから、今回、



関川村人会

ふるさとの

思い出話に花

地盤沈下や主軸などを調査しながら、保存を維持するための大規模改修を実施するもの。母屋は、一階の大座敷や二の間、前座敷、茶の間、書齋、新座敷をはじめ、二階の座敷など全室の床板を起こして畳をはいで補修。障子やガラス

戸のゆがみ、きしみも直すほか、壁の一部も修理します。また、塀周りでは、腐食している控え柱や塀の屋根などを新しくします。

そのほか、六棟ある蔵のうち、背側に傾いている宝蔵の直しや米蔵の補修もあわせて行われる予定となっています。

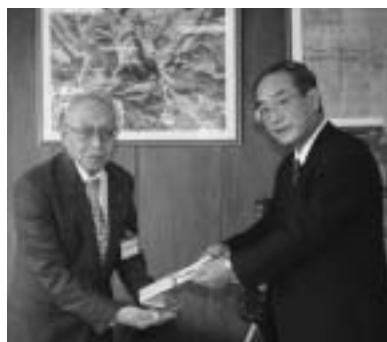
問い合わせ先

（財）渡邊家保存会事務局

☎六四 一〇〇二

首都圏在住関川村人会（加藤勇会長・鮎谷出身）の総会が十一月三十日、上野精養軒（東京都）で開催されました。当日は、会員六十七人の皆さんをはじめ、村長、議長、村の関係者など約百人が参加。平成十九年度の事業報告や平成二十年度の事業計画案・予算案が協議されました。

また、総会後の交流会では、大したもん蛇のミニ大蛇パレードや新米を使った餅つきを実施。そのほか、村の特産品を使った郷土料理も振る舞われ、地酒を酌み交わしながら、ふるさとの話題や思い出話に花を咲かせていました。



東北電力株から街路灯寄贈

交通事故や犯罪のない明るい村づくりのためにと、十二月二日東北電力（株）村上営業所の伊達義郎所長から村に、街路灯十二灯を寄贈いただきました。

ありがとうございました。

